

灯 (あかり)

『汗を流して、未来を拓く』

令和5年8月25日(金) 第11号

文責：校長 森下 隆司

夏休みが終わり、2学期に向けた準備期間へ

36日間の夏休みは、いかがお過ごしになられたでしょうか。学校には子どもたちに関する事故や大きなけがについての連絡はありませんでした。学校から提示させていただいた「(小)夏休みの生活について」「(中)夏休みの生活心得」に基づいて、子どもたちはもとより、各御家庭での御協力があったお陰と感謝しております。

また、夏休み期間中には、五島市や玉之浦町の行事等も開催され、子どもたちの頑張りの様子を見聞きすることが多くありました。学校では体験できないことにもものびのびと関わっている子どもたちの表情を見ると、夏休みを通して一段と成長している様子もうかがえ、大変嬉しく感じました。

さて、子どもたちは夏休みの楽しい思い出と心身の充電期間をもとにして、いよいよ2学期を迎えることとなります。8月25日から8月31日までの5日間の授業日は、学校における授業日数を確保するため、授業の余剰時数を確保し、そのことによって教員が児童生徒に向き合う時間を確保したり、子どもたちは午前中授業や1日の授業時数を段階的に通常日課に戻したりしていくことで、長期休業明けの2学期の生活リズムを緩やかに戻していくというねらいがあります。玉之浦小中学校においては、9月10日に運動会を控えているため、その準備や練習にも有効に活用できることを期待しています。

ただし、今後も残暑厳しい日々が続くことと思います。御家庭では、引き続きお子様の心身の状態に気を配ってください。学校でも長い2学期をしっかりと乗り切ることで、お子様のより一層の成長につながるように、教職員一同邁進して参ります。



【8/4 緑の少年団交流会】



【8/6 玉之浦町子ども交流会】



【8/7 中学生議会】



【8/12 玉之浦町港祭り】

たまんなっ子じまん

7月23日の長崎新聞「メクル 第716号『レッツ575』」に小学生の作品が掲載されました。令和5年度小学生最初の掲載は、4年生 富永蘇羅さんの作品です。玉之浦小中学校内には、小学生の作品がたくさん掲示されています。蘇羅さんに続いて、他の子どもたちの作品が掲載される日が楽しみです。また、8月13日の長崎新聞「ジュニア俳壇」に5名の中学生の作品が掲載されました。作品が掲載されるのが2度目の生徒も増え、今後の児童生徒のさらなる活躍が楽しみです。

7/23 掲載分

「風がふく ふうりんゆれる すずしいな」 富永蘇羅

8/13 掲載分

「ツルツルと季節知らせる素麺かな」 林 真心

「港祭り友達と見る虹色の灯」 川脇伊織

「わたあめが食べたくなるな入道雲」 埴 未来

「日付け見て楽しみに待つ夏休み」 埴 優斗

「翳雲きらきら泳ぎどこへゆく」 小林 紬